

(1) 東海村に仕事をつくる

数値目標	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
村内総生産 (億円)	現状値を上回る (3,512)	3,827	未	未

具体的な施策

①最先端科学技術の集積地である強みを活かした新しい産業の創出

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
産学官連携を促す働きかけを行った企業、研究機関等の数 (者)	5.0	-	0.0	12.0

令和7年度の主な取組み	スタートアップ支援施策基本構想の策定
担当課	産業政策課
概要	
将来的な目標として、研究所発・大学発スタートアップの促進、「次世代エネルギー」の革新的技術開発に取り組むスタートアップ企業の誘致・支援をしていくことで、村内の総付加価値額自体のパイを増やす。	
結果	
関係機関との調整を踏まえ、スタートアップ支援施策基本構想を策定した。令和8年度はこの拠点整備に向けて、関係組織の代表者による協議会を立ち上げ、詳細な計画の作成、運営母体などを含む事業スキーム・拠点の場所や規模の検討、資金確保に関する事項を検討していく。	

(1) 東海村に仕事をつくる

数値目標	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
村内総生産 (億円)	現状値を上回る (3,512)	3,827	未	未

具体的な施策

②中小企業、小規模事業者及び創業への支援による地域経済の活性化

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
創業支援事業による創業数 (件)	25	(平均) 5	14	11

令和7年度の主な取組み	新産業創造研究会運営体制の整備
担当課	産業政策課
概要	
将来的な目標として、企業間連携の機会創出を目的に、基幹産業企業と中小企業、行政、中小企業支援機関の連携機会を創出し、中小企業の「稼ぐ力」を向上させる。	
結果	
新産業創造研究会運営方針案を作成し、令和8年度においては、共同受注体制の具体化を進めていく。	

(1) 東海村に仕事をつくる

数値目標	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
村内総生産 (億円)	現状値を上回る (3,512)	3,827	未	未

具体的な施策

③地産地消を中心とした地域と共存する持続可能な農業

重要業績評価指標（KPI）	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
農業産出額 (億円)	現状値を上回 る(18.7)	19.0	未	未

令和7年度の主な取組み	東海村農業振興計画（改定版）の策定
担当課	農業政策課
概要	
(1)現行計画が、平成28年度から令和7年度までの10年計画であることから現計画の見直しを図り、令和8年度から10年間の農業振興及び農地保全、中心的な担い手育成確保及び地消推進等に関する農業振興計画を策定する。 (2)学識経験者や農業従事者、一般消費者の代表等で構成される東海村農業振興計画進行管理委員会で協議を重ね意見を集約し、改定作業を進める。 (3)令和5年度、令和6年度で実施した「農地の利活用に関する『地域計画』」策定に向けた取組との関連性を深めた改定作業とする。	
結果	
令和8年度から開始となる東海村農業振興計画を改定した。また、「農地の利活用に関する地域計画」の具現化に向け、現事業の見直しを行い、新規事業などを含めた事業戦略の立案を行った。	

令和7年度の主な取組み	農業の有する多面的機能の維持・促進
担当課	農業政策課
概要	
(1)多面的機能支払交付金を活用した、農地維持に関する地域の共同活動の継続及び農村環境の保全活動を推進する。 (2)持続的な地域活動を目指し、独立・自走するために必要な事項について、さらなる対話を進め、令和8年度以降の具体的な運営方法を導き出していく。	
結果	
東海坏土地改良区への適切な事務引継ぎの実施,多面的機能の維持・発揮に向けた活動（取組）に関する広報活動の強化,他分野団体等との連携の検討,先進地の取組事例紹介や学習会の実施につながった。	

(2) 東海村への人の流れをつくる

数値目標	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
社会増減数 (人)	100	33	23	116 (※)

※村統計情報による参考値

具体的な施策

①こども・わかものが魅力を感じるまちづくり

重要業績評価指標（KPI）	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
20代・30代の社会増減数 (人)	58	49	-5	未

令和7年度の主な取組み	こども・わかもの政策の基盤づくりと新たな展開
担当課	地域戦略課
概要	
令和5年度から、6・3・3とうかいつ子育成プロジェクトを立ち上げ、わかものともまちとの接点づくりに着手している。令和7年度は、サミット後の展開も見据え、これまでの土台づくりから施策を一段階ステップアップさせ、協定に基づく東海高校との連携に加え、茨城キリスト教大学・常磐大学との協定を活かし、わかまちコンソーシアムの枠組みづくりを推進した。一方で、こども基本法（11・13条）に基づく仕組みづくりに向け、わかまち政策の全体像を明確化し、地域とのつながりの在り方も模索している。	
結果	
オンラインプラットフォームの構築と試行を完了し、こども・わかもの参画協議会を設置・運営したほか、「わかもののまちサミット2025」を無事に開催した。さらに、わかもの会議や高校生まちづくりスクールの実施、東海高校との連携事業（いばたん）の完了、中学生の放課後活動支援策の立案など、若者参画の基盤を広げる取組を進めた。また、こども・わかもの政策の全体見取図を作成し、今後の政策展開に向けた整理も完了している。	

令和7年度の主な取組み	移住・定住施策の推進と新たな転入確保策の検討
担当課	地域戦略課
概要	
令和4年度から若い世代の移住支援はを行い、3年間で182件429人(子ども65人)の実績。引き続き移住支援策に取り組む。新たな転入確保策の検討にあたり、人口動態の実態や移住定住志向を調査、把握しつつ、中・長期的な視点からのUターン施策を検討する。“村の強み”（ブランド力）を広くPRしながら、関係部課を巻き込み・連携して取り組む。	
結果	
いいムラつくろう同窓会補助金の制度構築・実施、住まいる応援補助金の実施完了した。また、人口動態等の調査・分析を行い、庁内で共有するとともに若い世代の転入確保策の方向性とりまとめを行った。	

(2) 東海村への人の流れをつくる

数値目標	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
社会増減数 (人)	100	33	23	116 (※)

※村統計情報による参考値

具体的な施策

②地域資源を生かしたシティプロモーションの推進

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
修正地域参画総量 (mGAP／推奨意欲・参加意欲・感謝意欲の3つの意欲を算出) (ポイント)	現状値を上回る (推奨意欲) -20 (参加意欲) -143 (感謝意欲) 179	(推奨意欲) -20 (参加意欲) -143 (感謝意欲) 179	-	(推奨意欲) 76 (参加意欲) -76 (感謝意欲) 195

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
観光入込客数 (人)	350,000	293,100	292,800	未

令和7年度の主な取組み	新シティプロモーションの浸透と“場・人”づくり
担当課	地域戦略課
概要	
新たなシティプロモーションは、人づくりと地域に関わる人を増やす仕組みとして位置づけ、「場づくり」と「情報発信」を軸に展開している。また、新しいシティプロモーションは分野を問わず活用できる普遍的なものであり、全職員が自分ごととして取り入れていく必要がある。今後は、参加意欲・感謝意欲・推奨意欲といった指標を定期的に測定しながら、企業や職域も巻き込み、シティプロモーションの浸透を図っていく。	
結果	
職員・企業・住民を対象としたシティプロモーションを実施し、地域全体での理解と参加を促進した。また、T-Project（つなトーク・つどサロン）やスマホクリエイターズLABを計画どおり実施し、若者や地域住民が関わる機会を広げた。さらに、参加意欲・感謝意欲・推奨意欲といった指標（m-GAP）の測定を完了し、住民の意識変容を把握する基盤を整えた。加えて、ウォーカブルなまちづくりイベントも開催し、地域の魅力向上と住民参加の促進につなげることができた。	

令和 7 年度の主な取組み	アイヴィルシェアキッチンの整備
担当課	産業政策課
概要	
アイヴィルシェアキッチンを核とした地域産業の創出・活性化による駅前の賑わい創出と交流人口の増加を目的としている。	
結果	
令和8年度からの事業開始に向けたハード・ソフト整備を完了した	

(2) 東海村への人の流れをつくる

数値目標	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
社会増減数 (人)	100	33	23	116 (※)

※村統計情報による参考値

具体的な施策

③国際交流，国内交流の推進

重要業績評価指標（KPI）	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
自治体間の交流を目的とした訪問，来訪回数 (回)	50	-	7	17

令和7年度の主な取組み	アイダホフォールズ市との行政間の新たな交流
担当課	政策推進課
概要	
関係者との意見交換や産業視察団の受入などを実施しながら，今後の産業交流の方向性を検討する。	
結果	
アイダホ・フォールズ市等の産業視察団の受入と今後の産業交流の方向性の検討・調整を行った。今後は，市長交代後の，産業交流の在り方について検討を進める。	

(3) 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
出生数 (人)	250	250	233	236 (※)

※村統計情報による参考値

具体的な施策

①若い世代のライフデザイン形成と経済的な負担の軽減

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
東海村奨学金の期限内返還の割合 (%)	95.0	91.7	84.2	84.2

令和7年度の主な取組み	プレコンセプションケアの推進
担当課	健康増進課
概要	
プレコンセプション（若い男女が将来のライフプランを考え、早い段階から正しい知識を身に付け健康的な生活を送ること）を推進し、将来の健やかな妊娠や出産、次世代を担う子どもの健康につなげる。	
結果	
プレコンセプションケアの普及啓発として、高校生や大学生など若い世代を対象に健康教育を実施し、将来の妊娠に備えた知識の向上を図った。また、妊娠を希望する女性や妊娠初期の女性に向けて、必要な栄養や健康管理に関する理解を深める取り組みを進めるとともに、葉酸サプリメントの配布を行い、健康的な妊娠を支える環境づくりを推進した。	

令和7年度の主な取組み	こども・わかもののライフステージに応じた支援の実施
担当課	学校教育課
概要	
(1)こども・わかもの応援給付金支給事業による支援実施 (2)奨学金返還支援事業制度の改善	
結果	
こども・わかもの応援給付金の支給を完了し、業務手順をマニュアル化することで、今後の運用体制を整備した。また、奨学金返還支援事業については、周知を徹底するとともに、支援対象となる奨学金の拡充や年齢要件の引き上げなど、基準の一部見直しを行い、より多くの若者が利用しやすい制度へと改善を図った。	

(3) 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
出生数 (人)	250	250	233	236 (※)

※村統計情報による参考値

具体的な施策

②妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援・相談体制の充実

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
乳幼児健康診査の受診割合 (%)	現状値を下回らない (99.7)	99.7	100.8	99.2

令和7年度の主な取組み	こども家庭センターの機能一体化検討
担当課	健康増進課
概要	
(1)「子ども家庭層が負う支援拠点（子育て支援課）」と「子育て世代包括支援センター（健康増進課）」の機能を一体化させた「こども家庭センター」（R6.4月始動）について、業務（活動）実績や実情等に鑑みた組織や連携体制等について改めて検討を図る。 (2) リモートによる各種関係手続・相談体制に向けた、窓口改革（行かない窓口ほか）の推進・連携に向けた協力、検討。	
結果	
「こども家庭センター」の実績や現状を把握し、今後の方向性を示すとともに、導入ツールの選定や相談体制の在り方について検討を進めた。「こども家庭センター」の機能一体化に関しては、執行場所の在り方も含め、従来以上に利便性が高く、機能が十分に発揮される体制の構築に向け、引き続き検討を行っていく。さらに、今後の総合窓口化の実施状況を踏まえ、より利用しやすい支援体制の整備を図っていく。	

(3) 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
出生数 (人)	250	250	233	236 (※)

※村統計情報による参考値

具体的な施策

③多様なニーズに対応した保育，育児サービスの充実

重要業績評価指標（KPI）	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
保育所等利用定員確保割合 (%)	100.0	-	96.3	96.8

令和7年度の主な取組み	子育て家庭の保育・学童ニーズに応える受け皿の整備
担当課	子育て支援課
概要	
(1) 舟石川保育所の移転再整備の推進 (2) 学校施設を活用した学童クラブの実施推進	
結果	
新設する舟石川保育所については，令和8年4月からの建設工事着手に向け，実施設計を完了した。また，舟石川小学校および白方小学校における学校施設の活用に向けた調整と環境整備を進め，令和8年4月より両校で施設内学童クラブの運営を開始できる体制を整えた。	

令和7年度の主な取組み	子育て家庭の保育・学童ニーズに応える受け皿の整備
担当課	子育て支援課
概要	
乳児等通園支援事業（こども・誰でも通園制度）実施体制の構築	
結果	
乳児等通園支援事業（こども・誰でも通園制度）の実施基準等の整備（R8.4より事業実施）	

（４）新たなにぎわいを生み出す魅力的な地域をつくる

数値目標	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
地価公示価格 (円/㎡)	現状値を上回る (38,686)	38,686	38,686	38,686

具体的な施策

①移住・定住の受け皿となる新市街地の整備

重要業績評価指標（KPI）	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
中央区画整理事業の進捗率 (%)	89.0	68.0	71.2	75.2

令和7年度の主な取組み	中央土地区画整理事業の推進
担当課	区画整理課
概要	
令和7年度は、本地区まちづくりの軸となる五反田線及び勝木田下の内線沿いの宅地造成工事を進め、最終的には村松小学校南側の根崎谷津の造成工事を行う計画とした。期間としては、令和14年度工事概成、令和16年度換地処分を目標とする。今後の5年間で集中的に整備を進め、定住化の促進や新市街地への誘導を図る。	
結果	
事業進捗率　76%	

(4) 新たなにぎわいを生み出す魅力的な地域をつくる

数値目標	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
地価公示価格 (円/㎡)	現状値を上回る (38,686)	38,686	38,686	38,686

具体的な施策

②新たな発展基盤としての周辺地域の整備と地域をつなぐ交通インフラの充実

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
地区計画の策定数 (件)	6	-	4	4

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	実績値		
		R5	R6	R7
東海駅の乗降者数 (1日平均) (人)	4,800	4,399	4,498	未

令和7年度の主な取組み	新たなにぎわいを生み出す魅力的な地域をつくる
担当課	都市政策課
概要	
まちづくりの羅針盤の考えを踏まえ、主にビジョン2の「新たなにぎわいを生み出す都市基盤のデザインとまちなみの整備」の実現を図るため、東海村の魅力を生かした将来の都市像や地域のあるべき姿を明らかにするとともに、地域の特性に応じたまちづくりを進める。	
結果	
都市計画マスタープランの改訂に向けて、関係機関との調整を進めるとともに、議会および住民への周知や意見反映に配慮しながら検討を進めた。また、新規事業として石神地区のまちづくりと東海スマートICの大型車対応化を一体的に捉え、石神地区整備構想（素案）の検討を進める。さらに、フローレスタ須和間の商業地利用に向けて、県都市計画課、事業者、自治会等との調整を図りつつ、関係機関協議や都市計画図書の作成を進める。	

令和7年度の主な取組み	村松地区の地域活性化
担当課	政策推進課
概要	
(1)村松地区周辺地域活性化計画に基づく、村として主体的に取り組む具体的な事業の推進を図る。 (2)国道245号の4車線化、阿漕ヶ浦公園の再整備、J-PARCアクセス道路の整備といった阿漕ヶ浦周辺のインフラ整備に合わせ、隣接するJAEAの遊休地も含めた整備案を検討し、面的整備による活性化を図る。	
結果	
令和6年度に庁内合意した「阿漕ヶ浦周辺の面的整備の素案」に基づき、「阿漕ヶ浦周辺整備基本計画」を策定した。令和8年度は、阿漕ヶ浦周辺の魅力向上への取組み（関係者との協定の締結、関係機関からなる協議体の設置、にぎわいを生み出すイベント等の実施・誘致、整備地関係者への説明、協議）を進める。	